

# 南山だより



東京都港区元麻布3-8-15 TEL03(3403)5773 FAX03(3408)4532 MAIL:nanzan-es@minato-tky.ed.jp

## ふれあい（交流）から生まれること

～言葉から見つめ直そう～

副校長 安川 由美

10月29日（土）は3年ぶりに一日開催で体育発表会を実施します。コロナ感染拡大防止のことを考慮しながらも、全校児童が互いに演技を見合うことで、子供たちにとっては、一生懸命演技する友達や他学年の様子が刺激となり、保護者の応援が励みになります。保護者の皆様と教職員にとっては、子供たちの成長に喜びを感じる瞬間です。大きな行事で「ふれあう」ことは「互いのよさを認め合い、自分自身のよさを発見する」ととても貴重な機会なのです。

11月は「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」です。本校では、毎年、各学級で「ふれあい月間」について話し合っって標語をつくり、全校の前で発表をしています。昨年度子供たちが考えた標語のいくつかを紹介します。

★人とのふれあいを通して、温かい気持ちを分け合ったり、

助けになったりすることを 心を込めて実践しよう。

★みんながうれしくなる ことばと あいさつ を 明るくはっきり気持ちをこめて元気よく。

★ことばは かがみ、「ふわふわことば」（注1）を広げよう！

（注1）「ふわふわことば」とは人の気持ちが温かくなる言葉

子供たち同士に心のすれ違いが起きる時、人から言われた言葉、人のしぐさや態度がきっかけとなることが多いです。本人が意図していなくても、相手にとっては傷付く言葉として受け取られたり、しぐさや態度で不愉快な思いをさせたりすることもあります。ふれあい（交流）があれば、そういう場面もゼロではありません。でも、そのことに気付いた時、傷付けたことを詫言たり、誤解を解いたりする時には、やはり、言葉の力が必要になります。

30年以上前、私が新規採用教諭として東京都の教員になり、初めて学校に出勤した時、私の机の上に小包が置いてありました。送り主は、私の小学校5・6年の担任の先生からの贈り物でした。小包開けると私宛の手紙があり、次のように書かれていました。

「あなたは私の教え子の中で、初めて教員になった教え子です。教員は言葉を大切にすることです。そのことを忘れずにいてください。」

そして、いただいた贈り物は辞書でした。今でもその辞書を大切にしています。人とのやり取りをするとき、この恩師のことを思い出します。上手くいかないこともありますが、まず、どんな言葉で伝えればよいか考える気持ちをもたせてくれた恩師に感謝しています。

なお、11月14日（月）から11月25日（金）まで「巡回平和メッセージ展」として職員室前廊下に著名人による平和メッセージを展示し、図書室には平和関連図書を設置します。ご来校の際はぜひご覧になって、素敵な言葉に触れ、ご家庭でもお子さんと「ふれあい」ながら温かい言葉で会話をしてください。

「ふれあい」にはいろいろな形があります。人との直接交流、手紙やメールのやりとり、作品や本などとの出会い……。ふれあい（交流）から温かい心と言葉が生まれてくること、子供だけでなく大人である私たちが言葉を見直していく機会となることを願います。

## 南山小の伝統を受け継いで～たてわり班活動・異学年交流～

特別活動部主任

「1年生が頑張っている姿を支えることはとっても楽しい。」「声かけの仕方などで難しいこともあるけれど、班の中で助け合いながら挑戦している。」「自分たちも今まで高学年にやさしく教えてもらったり、助けてもらったりした。恩返しをする気持ちで頑張りたい。」「たてわり班活動を中心にまとめる高学年の振り返りから出てきた言葉です。

南山小学校では、1年生から6年生が14のたてわり班に分かれて活動を行う異学年交流の機会を大切にしています。4月には顔合わせ集会があり、7月のなかよし集会では校内オリエンテーリングを通して親睦を深めました。9月の挨拶運動では、代表委員会とたてわり班の班長が「挨拶運動に向けた各班の想い」を14日間伝える放送りレーを企画し、明るい挨拶で溢れる南山小にみんなでしていこうと、全校に伝え、心をひとつにしました。

集会委員会では、児童集会で班の団結力や親睦を深めるゲームを企画し、互いを尊重し合いながら全校で楽しむ時間となっています。音楽朝会では一緒に歌うことで、心の交流も深めています。また、低学年と高学年のペア学年で体力テストの記録を計ったり、体育発表会の演技を見合ったりと異学年交流も授業を通して積極的に行っています。「たてわり班でのあいさつ運動を正門でして、もっと挨拶の輪を広げたい。」「お正月に伝統文化遊びを教えてあげたい。」「高学年が中心となってよりよい南山小の伝統をつなげていきたい。」と語る児童の姿はとても頼もしいです。これからも児童中心の活躍を支え、伝統を受け継ぐ中で、思いやりの心をもって互いを理解し合える、よりよい人間関係を育てていきます。



## 国際理解についての取り組み

国際科担当

南山小学校では、様々な国籍の児童が在籍しており、国際理解教育の取り組みを行っています。

国際科の授業では、英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を培うとともに、広く世界に目を向けた国際理解教育を推進し、国際人としての資質を育成するという目標のもと、担任が中心となって学習を進めています。ネイティブティーチャーと打ち合わせを行い、様々な国の挨拶や食べ物、文化などを題材にしながらい国際理解を図り、英語を「話す」ということではなく英語で「コミュニケーションをとる」ということに重点を置き、学習します。

特別活動では、代表委員会の児童を中心に「世界友達プロジェクト」という取り組みを行っています。様々な国籍の児童が自国の特徴やおすすめの料理などをその国の言語と日本語で紹介し、それに関するクイズを給食の放送の時間に出題しています。英語圏だけでなく、様々な言語や文化に触れることで、国際理解についての理解を深めています。

国際科の授業、代表委員会の世界友達プロジェクトの取り組みを中心に、子供たち一人ひとりの個性や能力を伸ばし、国際社会に貢献する態度とコミュニケーション能力を備えた世界の中で活躍できる真の国際人の育成を行っています。

### 11月行事予定

2日(水)	委員会活動	18日(金)	避難訓練
5日(土)	あいさつ音楽劇 港区情報モラル講習会(保護者)	22日(火)	社会科見学4年 給食試食会(3年生保護者対象申し込み制)
7日(月)	水曜時程5時間授業	28日(月)	委員会活動(12月分)
10日(木)	4時間授業	30日(水)	クラブ活動
11日(金)	水曜時程5時間授業 算数検定(希望者)		

### 11月生活目標

正しいことばづかいをしよう <ふれあい月間>